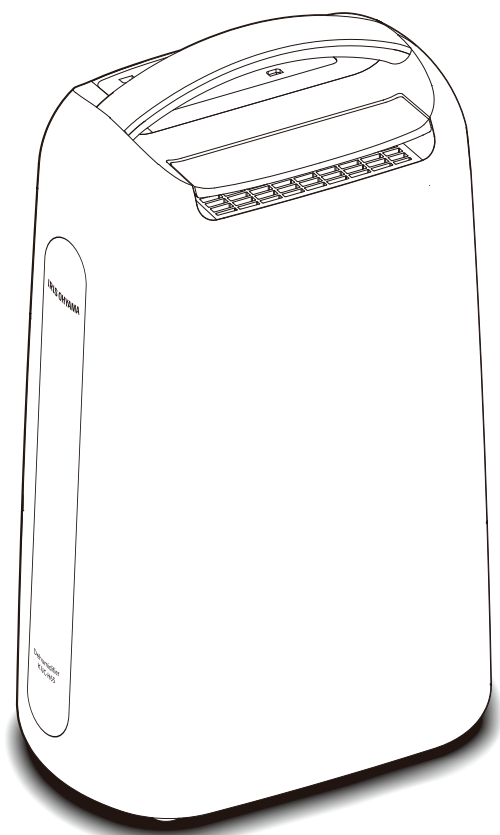


衣類乾燥除湿機

KIJC-H652

取扱説明書



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用前に

安全上の注意	2
使用上の注意	4
各部の名称	6

取り扱いかた

使いかた	8
お手入れ	11
保管のしかた	12

こんなときには

故障かな？と思ったら	13
仕様	15
保証とアフターサービス	15
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を示す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。

- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。
ただし、使用後約4分間は冷却のため、電源プラグを抜かないでください。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、修理専用コールへお問い合わせください。

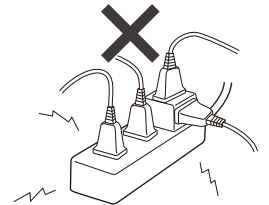


- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。

- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない
火災・感電の原因になります。

- 電源コードを傷付けない
傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- コンセントや延長コードなどの定格を超える使用をしない
火災の原因になります。



- 交流100V以外では使わない
火災・感電の原因になります。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。
修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



- 屋外で使用しない
- 押し入れや家具のすき間など狭い場所で使用しない
過熱して火災の原因になります。

- 風の流れをさえぎるようなものの周囲で使用しない
- ほこり、粉塵の多い場所で使用しない
発煙・火災・故障の原因になります。



- 除湿・衣類乾燥以外の用途に使用しない
異常動作・火災の原因になります。

- 業務用など家庭用以外の用途に使用しない
本製品は家庭用として設計されています。業務用など家庭用以外の用途に使用すると、火災などの原因になります。

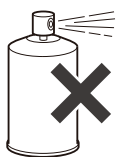


水ぬれ禁止

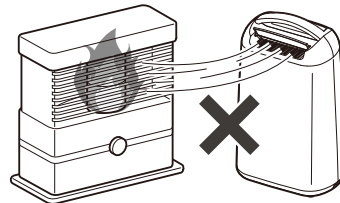
- 水まわり、風呂場など水のかかる場所では絶対に使用しない
- 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。



- スプレーをかけない
(殺虫剤、整髪料、潤滑油など)
- 引火性のもの(灯油・ガソリン・シンナーなど)、可燃性のもののそばで使わない
- 油煙の舞う場所や近くで使用しない
火災の原因になります。



- 風をストーブなどの燃焼器具に向けて使用しない
不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。



- 火気の近くで使用しない
火災や誤動作の原因になります。

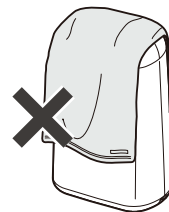


- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
 - ・ 異常な音やにおいがする
 - ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - ・ 運転中時々電源が切れる
 - ・ 触れるとビリビリ電気をを感じる
- ➔ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



- 吹き出し口・吸気口、水タンク挿入部の奥などのすき間にもものや手を入れない
感電やけがの原因になります。

- 吹き出し口・吸気口を、布や紙、ビニール袋などでおおったりふさいだりして運転しない
過熱して火災の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。



- 食品・医薬品・美術品・学術資料の保存など、業務用・特殊用途に使わない
保存品の劣化の原因になります。家庭用でするので、業務用・特殊用途には使用しないでください。

- 除湿した水を飲料用・飼育用・栽培用などに使用しない
健康を害したり、害を及ぼしたりするおそれがあります。



- 水平で安定した床の上で使用する
不安定な場所・テーブルの上などで使用すると、転倒してけがや周囲の物品の破損の原因になります。



- 強い衝撃を与えない
故障して、火災・感電の原因になります。



- 子どもなど取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない
- 乗ったり寄りかかったりしない
感電・やけど・けがなどの原因になります。



- 煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは運転しない
除湿機内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出されて、健康によくない場合があります。
殺虫剤の使用後は、十分換気してから運転してください。

安全上の注意 つづき



- 風を直接身体に当てない
特に、小さなお子様やお年寄りにはご注意ください。体調が悪化したり健康を害する原因になります。

- 動植物に直接風を当てない
害を与えるおそれがあります。



- 水タンクのプロートを外さない
運転できなくなったり、水があふれて周囲の汚損の原因になったりします。

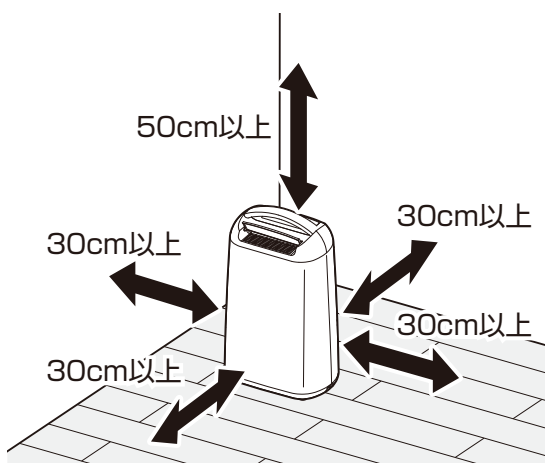
- 吸気口カバーや水タンクを取り付けずに運転しない
けが・感電・火災の原因になります。



- 移動するときは、運転を停止し電源プラグを抜いて、水タンクの水を捨てる
感電・火災、また漏水による周囲の汚損の原因になります。

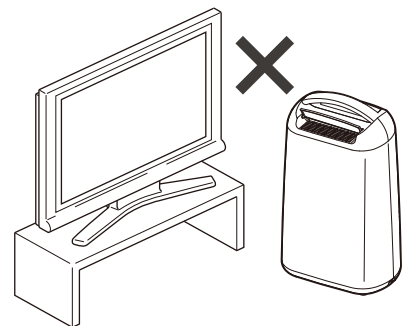
使用上の注意

- 設置の際は、カーテン・壁・家具などから、図に示す距離を空けてください。
過熱・火災の原因になります。

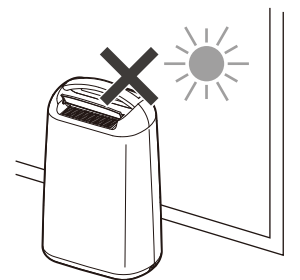


- なるべく閉め切った部屋で使用してください。
運転中に窓や扉を開閉して室内の温度が大きく変わると、除湿量が低下する場合があります。

- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。



- 直射日光やエアコン・暖房器具の温風が当たらないところに設置してください。
変形・変色したり、センサーが温度・湿度を感知できずに誤動作する場合があります。



安全機能について

- 操作にかかわらず、運転開始後12時間経過すると、自動的に電源が切れて運転を停止します。(切り忘れ防止機能)
切り忘れ防止機能が働いたときは、運転 切/入ボタンを押すと運転を再開します。

使用上の注意 つづき

■衣類乾燥除湿機とは

室内に干した洗濯物は乾くまでに時間がかかります。屋外に干して乾燥できても、取り込む時間帯が遅くなると再び湿気を吸収してしまいます。

その間に、乾きの悪い洗濯物には雑菌が繁殖したり、においがついたりします。また、室内で蒸発した水蒸気は、畳などの床に吸収されたり、壁や窓に結露したりします。

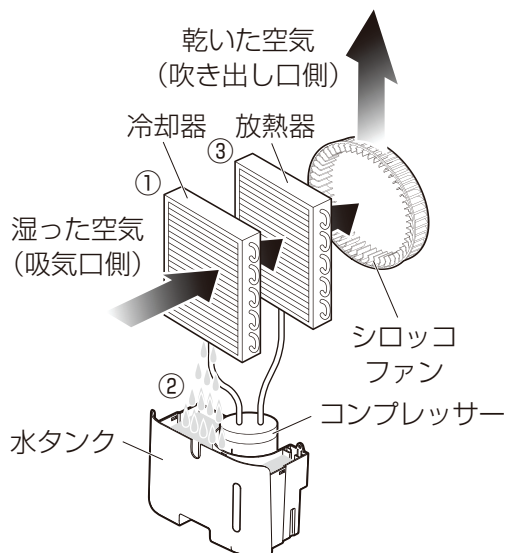
衣類乾燥除湿機は乾燥した空気を直接洗濯物に当てることですばやく衣類を乾燥させます。

また、除湿機の機能を活かして、衣類から蒸発した水分が他へ移る前にすばやく取り除き、かびや結露の発生を防ぎます。

■除湿のしくみ

本製品はコンプレッサー式除湿機の仕組みを利用しています。

- ① 吸い込んだ空気を冷却器で冷やします。
- ② 空気中の水分は冷却器表面で結露し、水滴となって水タンクにたまります。
- ③ 冷却器で奪った熱は、放熱器で除湿された空気に戻されます。



室温が上がります

本製品は冷房機器ではありません。

閉め切った部屋で使用すると、室温が上昇します。

また、直射日光の熱や他の家電から出る熱があると、より室温が上昇する場合があります。

除湿量について

室内の温度や湿度によっては、除湿しなかったり、除湿量が減少することがあります。

室温が低いとき

- ・ 本製品は室温15～35℃で効率よく除湿できるように設計してあります。室温が低いときには、吸気と冷却器の温度差が小さく結露しにくいいため、除湿量も減少します。

湿度が低いとき

- ・ 部屋の湿度が低いときには、空気中の水分量が少ないため、除湿量も減少します。

目標湿度に達したとき

- ・ 自動モードで運転しているときは、目標湿度に達すると除湿が停止するため、除湿量は減少します。

■上手な使いかた

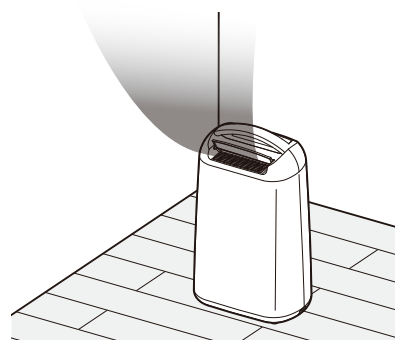
洗濯物を乾かすとき

除湿された風が洗濯物に当たるように、スイングボタンでフラップのスイングの方向を設定します。(→P10)



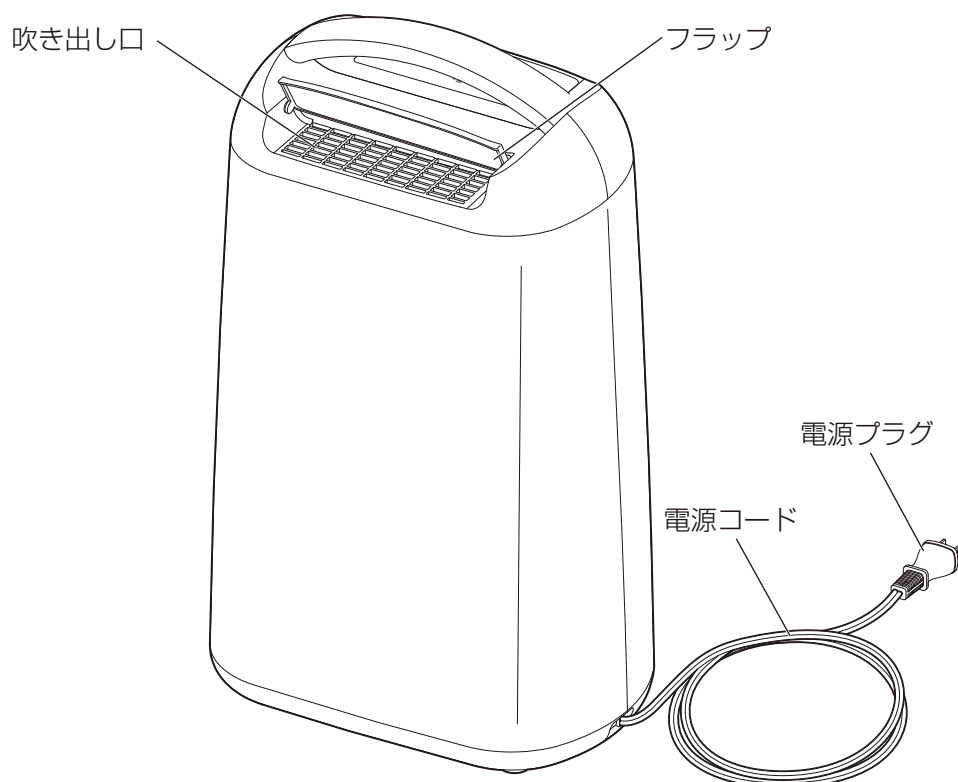
部屋の湿気を取るとき

スイングボタンでフラップのスイングを上方向または広角に設定して、部屋全体の空気を循環させるようにします。部屋の隅の湿気を取るときは、フラップのスイングを下方向に設定して、風を向けます。

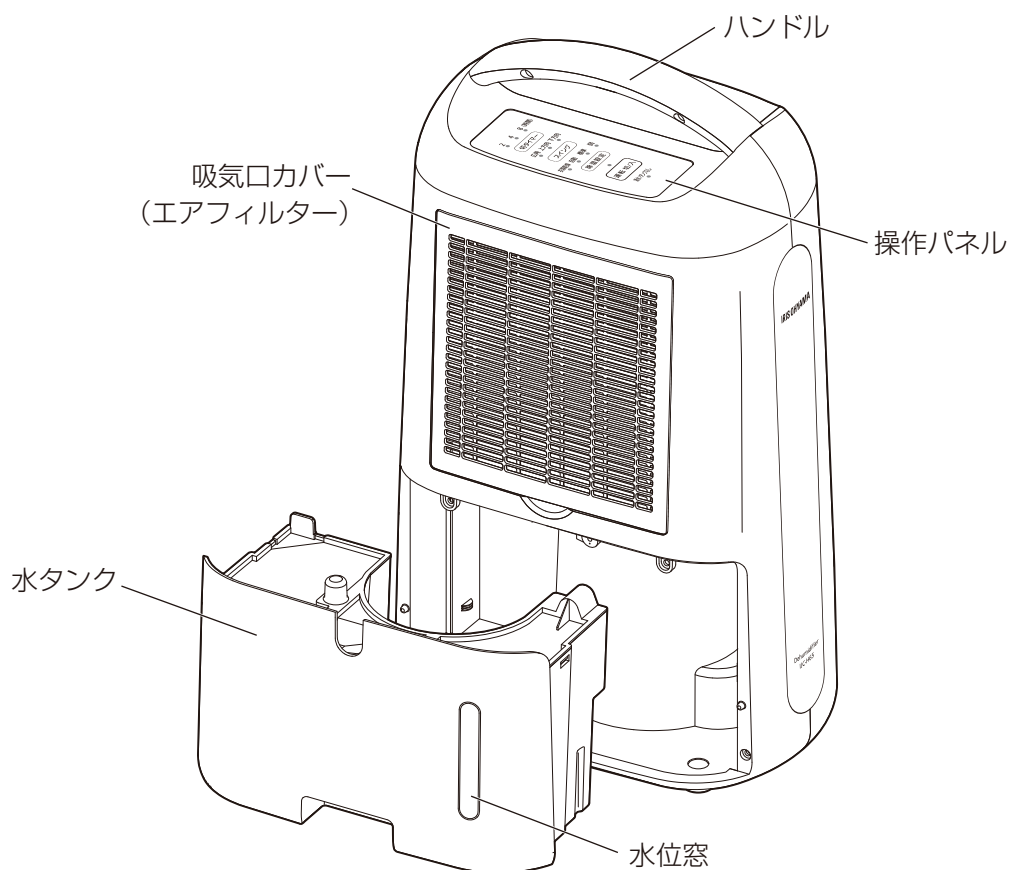


各部の名称

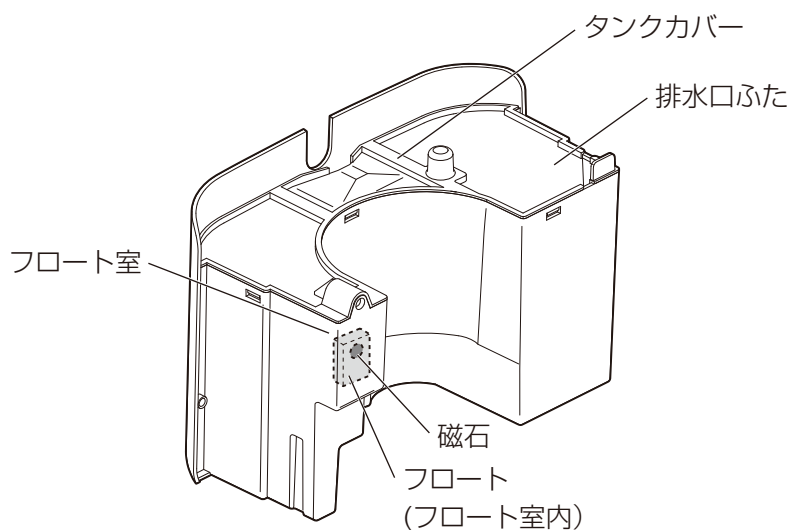
■正面



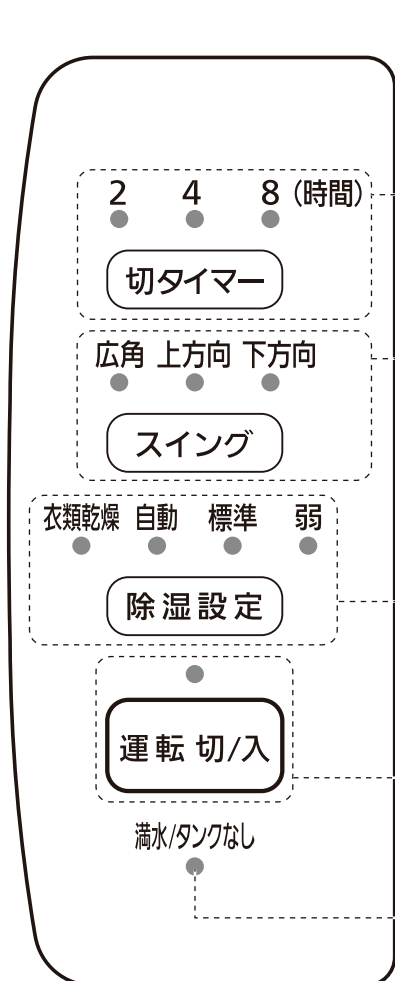
■背面



■水タンク



■操作パネル



切タイマーランプ・ボタン

ボタンを押すたびに、ランプが切り替わって、切タイマーがスタートします。(→P8)

→ 2 → 4 → 8(時間) → 消灯(タイマー解除)

残り時間に合わせてランプが切り替わって、残り時間がなくなると運転を停止します。

8(時間) → 4 → 2 → 消灯(停止)

スイングランプ・ボタン

ボタンを押すたびに、フラップのスイングが次のように切り替わります。停止したときは、好みの方向に手動で動かすことができます。(→P10)

→ 広角 → 上方向 → 下方向 → 消灯(停止)

除湿設定ランプ・ボタン

ボタンを押すたびに、除湿のモードが切り替わります。(→P8)

→ 標準 → 弱 → 衣類乾燥 → 自動

運転ランプ・運転 切/入ボタン

ボタンを押すと、ランプが点灯して運転を開始します。再度ボタンを押すと、ランプが消灯して運転を停止します。

満水/タンクなしランプ

水タンクが満水になったり、水タンクが正しくセットされてないと、運転を停止して点灯します。

使いかた

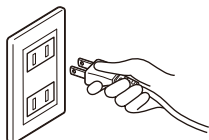
- 水タンクが本体に確実にセットされていることを確認してください。水タンクが正しくセットされていないと、満水／タンクなしランプが点灯し、運転できません。

※ 操作にかかわらず、運転開始後12時間経過すると、自動的に電源が切れて運転を停止します。

(切り忘れ防止機能、→P9)

1 電源プラグをコンセントに差し込む

- ・ ピーピーピー ♪ と音が鳴ります。



2 運転 切／入 ボタンを押す

- ・ 運転ランプが点灯し、運転が始まります。

● — 点灯



3 除湿のモードを選ぶ

- ・ 除湿設定 ボタンを押すたびに、除湿のモードが切り替わります。



→ 標準 → 弱 → 衣類乾燥 → 自動

標準

標準の風量で連続除湿運転します。

弱

運転音をできるだけ抑えて、除湿運転します。

衣類乾燥

最大能力で3時間連続除湿運転した後、1時間ごとに部屋の湿度を検知して、湿度が高いと、運転を継続します。

湿度が低いと、1時間の運転後、停止します。

※ 湿度が高いままでも、運転開始後12時間で切り忘れ防止が働き、運転は停止します。

自動

センサーで湿度を検知して、湿度55%を目標にして自動運転します。湿度が下がると、除湿を停止し送風運転に切り替わります。湿度が上がると、除湿運転を再開します。

- 標準・弱のモードで運転中でも、本体内部の温度が上がったときは、冷却のためにファンの回転数が上がる場合があります。

4 洗濯物などに向けて風向きを調節する



※ スイングボタンでフラップのスイングを設定することができます。洗濯物などに風が当たるように調節してください。

■ 切タイマー

切タイマーを使うと、設定した時間後に運転を停止することができます。

- ・ 切タイマー ボタンを押すたびに、次のように表示ランプが切り替わり、タイマーがスタートします。

切タイマー



→ 2 → 4 → 8(時間) → 消灯(タイマー解除)

残り時間が少なくなると、表示ランプもそれに合わせて切り替わり、残り時間がなくなると運転を停止します。

8(時間) → 4 → 2 → 消灯(停止)

※ 水タンクが満水になったり、水タンクを取り外したりすると、満水／タンクなしランプが点灯し、切タイマーも中断します。

排水して空になった水タンクをセットすると、切タイマーは中断したところから残り時間をカウントします。

※ 切タイマー動作中に切タイマーボタンを押すと、切タイマーは解除されます。(切タイマーランプは消灯します。)

※ 運転 切／入 ボタンを押すか、電源プラグを抜くと、切タイマーは解除されます。

■ 運転を停止するには

運転中に**運転 切/入**ボタンを押すと運転が停止して電源が切れます。



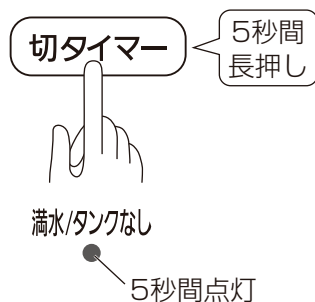
■ 切り忘れ防止機能

操作にかかわらず、運転開始後12時間経過すると、自動で電源が切れ、運転を停止します。

- ・切タイマー動作中は、切タイマーが優先されます。

切り忘れ防止機能のキャンセル

- ・**切タイマー**ボタンを5秒間長押しすると、ピッと鳴って、**満水/タンクなし**ランプが5秒間点灯し、切り忘れ防止機能がキャンセルされます。
- ・切り忘れ防止機能がキャンセルされると、操作にかかわらず、運転開始後24時間後に電源が切れて運転を停止します。
- ・再度**切タイマー**ボタンを5秒間長押しすると、ピピッと鳴って、**満水/タンクなし**ランプが5秒間点灯し、切り忘れ防止機能が再び働きます。(運転開始後12時間で自動停止します。)



通常運転時	12時間後に停止
ピッ↑↓ピピッ	
キャンセル時	24時間後に停止

■ 満水/タンクなしランプが点灯したら

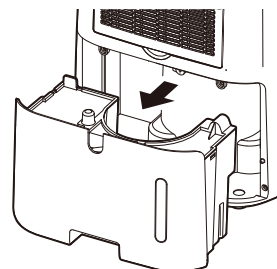


- ・水タンクが満水になると、ブザーが鳴り**満水/タンクなし**ランプが点灯して運転が停止します。水タンクを取り出して排水してください。空になった水タンクをセットすると、停止前の状態で運転を再開します。

排水のしかた

1 水タンクをゆっくり取り出す

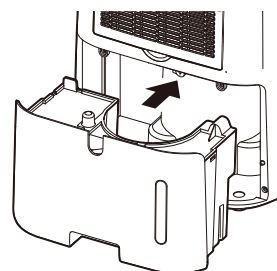
- ・水をこぼさないようにゆっくり引き出してください。
- ※ 本体内部に水がこぼれていたら拭き取ってください。



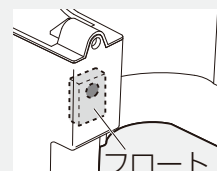
2 排水口ふたを開け、水を捨てる



3 排水口ふたを閉め、水タンクを本体にセットする



- 水タンクを正しくセットしないと運転しません。
- フロートが動かないと満水を検知できません。フロートが動かない場合は、水タンクをゆするなどしてフロートが動くことを確認してから水タンクをセットしてください。フロートが動かない場合は、フロート室を掃除してください。
- フロート室に異物やごみが入っていないことを確認してください。満水時の自動停止が働かなくなります。

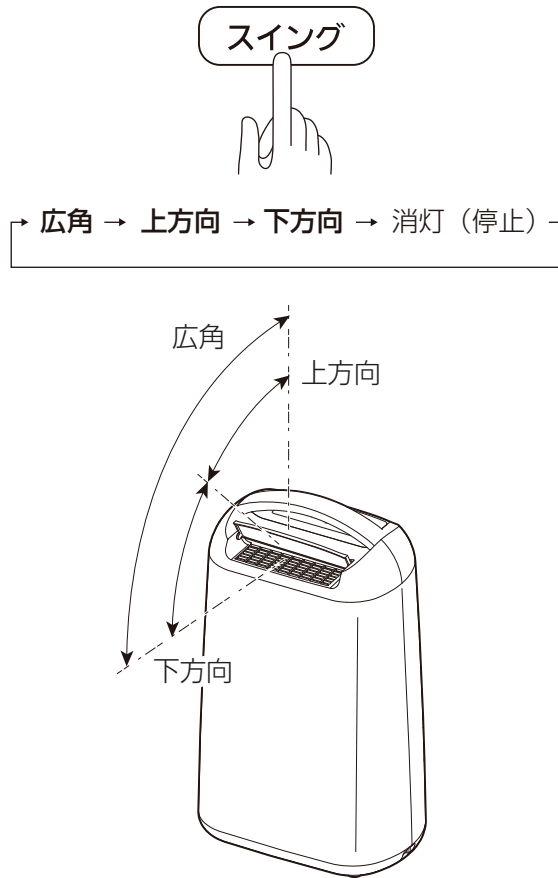


注意

- 水タンクの水はこまめに捨ててください。放置しておくと、雑菌の繁殖やにおいの原因になります。

■スイングボタン

※スイングボタンを押すたびに、フラップのスイングが次のように切り替わります。



- スイングを停止したときは、フラップは上を向きます。

フラップの角度を固定するには

- スイングを停止したときは、フラップを好みの角度に手で動かすことができます。

●スイング中は、フラップを手で動かさないでください。故障や誤動作の原因になります。

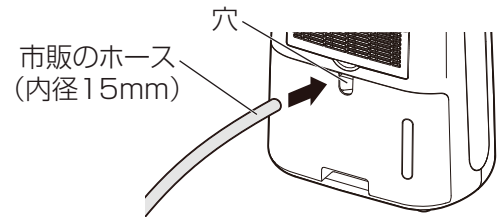
■連続排水

市販のホースを接続して排水すると、水タンクを気にすることなく、連続で除湿できます。

※内径15mmのホースを用意してください。

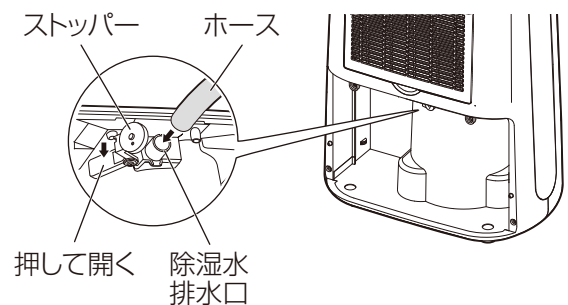
1 ホースを接続する

- 水タンクを取り付けたまま、水タンク背面の穴から、ホースをまっすぐ差し込んでください。



ホースがうまく差し込めない場合は

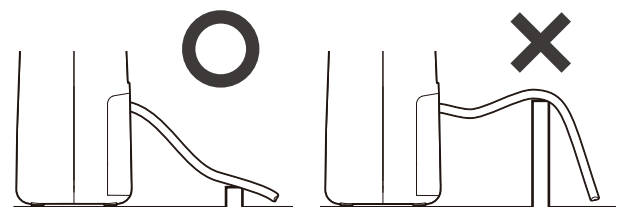
- 水タンクを取り外し、除湿水排水口のストッパーを開いて、除湿水排水口にホースを接続してください。



- ホースを接続した後、水タンクを取り付け、水タンク背面の穴からホースが出るようにしてください。

2 ホースのもう一方を、排水する場所にセットする

※ホースは、接続した除湿水排水口より上に持ち上げないでください。



※ホースの先端は水の中に入れないでください。排水できなくなり、水もれの原因になります。



お手入れ



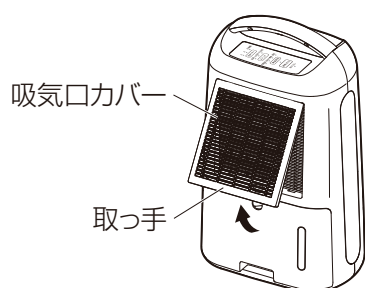
- お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- また、ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電やけがのおそれがあります。

■吸気口のお手入れ 2週間に1回

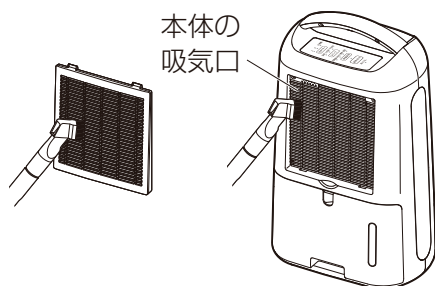
1 運転を停止し、水タンクの水を捨てる

※水の捨てかたは、「排水のしかた」(9ページ)をご覧ください。

2 吸気口カバーの取っ手を手前に引き、上に持ち上げて外す



3 吸気口カバーと本体の吸気口を掃除機で掃除する



- 吸気口カバーの裏側にはエアフィルターが装着されています。エアフィルターを破損しないように注意してください。
- ブラシ付きノズルを使用する際は、エアフィルターの破損に十分気を付けてほこりを取り除いてください。

4 吸気口カバーを元通り取り付ける

- ・吸気口カバー上側の突起を本体にはめ込んでから、下側を押し込みます。

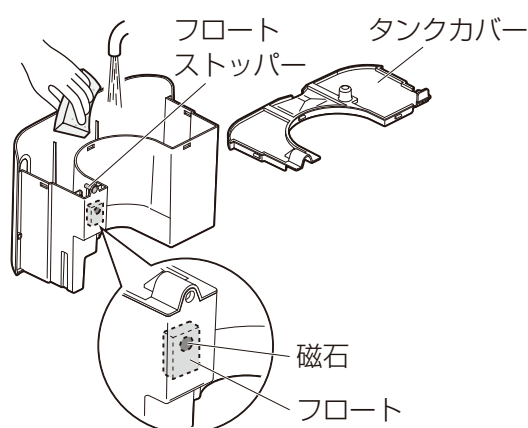
■水タンクのお手入れ 1か月に1回

1 運転を停止し、水タンクの水を捨てる

※水の捨てかたは、「排水のしかた」(9ページ)をご覧ください。

2 水タンクとタンクカバーを水洗いする

※フロート室内に異物やごみがあったら、洗い流してください。



- 水タンクにはフロートが外れないようにフロートストッパーが付いています。フロートストッパーが外れると、フロートも外れて満水を検知できなくなり、水があふれる可能性があります。

※フロートが外れたときは、磁石の付いている方を上、磁石の面を後ろに向けて取り付けてください。

3 よく水を拭き取ってタンクカバーを元通り取り付け、水タンクを本体にセットする



- タンクカバーはしっかり取り付けてください。タンクカバーがないと水滴が水タンクに流れません。
- また、すき間があると、水がこぼれることがあります。

- 水タンクを正しくセットしないと運転しません。
- フロートが動かないと満水を検知できません。フロートが動かない場合は、水タンクをゆするなどしてフロートが動くことを確認してから水タンクをセットしてください。

お手入れ つづき

■本体のお手入れ 1か月に1回

水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませた柔らかい布をよくしぼって、汚れを拭き取ります。

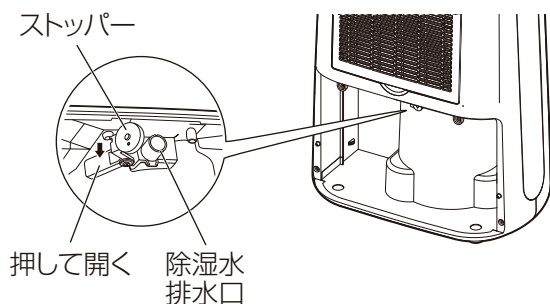


- 水をかけないでください。感電・けが・故障の原因になります。
- 化学ぞうきんを使用する際は、その注意書きにしたがってください。
- アルコール、ベンジン、シンナー、みがき粉などは使用しないでください。製品を傷めることがあります。

■除湿水排水口のお手入れ

1か月に1回

- ・水タンクを取り外し、内部の除湿水排水口にごみがたまっていたら、拭き取ってください。
- ※除湿水排水口のストッパーは、レバーを押して開いてください。



- 除湿水排水口にごみがたまっていると、使用中に除湿水があふれ、周囲を汚損する原因になります。

保管のしかた

長期間使用しない場合は、以下の手順で保管してください。

1 電源を入にして、除湿設定ボタンを5秒間長押しする

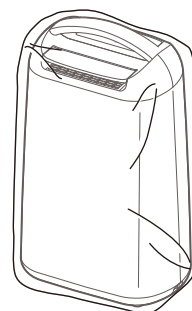
- ・除湿モードのランプが4つとも点灯します。
- ・1.5時間、乾燥運転（送風のための運転）をします。



2 水タンクを取り外して排水する

3 本体・吸気口・水タンクを、お手入れの手順にしたがってお手入れする

4 十分乾燥させてから、ほこりが入らないように、梱包箱またはポリ袋に入れる



5 直射日光が当たらず、湿気の少ない場所に立てたまま収納する

※長期保管後使い始めるときも、点検・お手入れをしてから清潔な状態で使用してください。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
運転しない	●電源プラグが確実に差し込まれていない	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	●室温が高すぎる ●室温が低すぎる	●適切な室温（5～35℃、効率よく除湿できるのは15～35℃）にして、運転してください。
運転が止まった	●運転開始後12時間経過したため、切り忘れ防止機能が働いた	● 運転 切／入 ボタンを押すと運転を再開します。
	●衣類乾燥モードで運転中センサーが部屋の湿度を検知して運転が終了した	●衣類乾燥モードで運転中は、センサーが部屋の湿度が低下したことを検知すると、運転を停止します。続けて運転するには 運転 切／入 ボタンを押して、運転を再開してください。
運転しない (満水／タンクなしランプが点灯する)	●水タンクが満水になっている	●水タンクの水を捨ててください。
	●水タンクが正しくセットされていない	●水タンクを本体に正しくセットしてください。
	●水タンク内のフロートが外れている	●フロートを正しく取り付けてください。（→P11）
運転しない 運転が止まった (ブザーが鳴って、運転ランプが点滅する)	●本体内部の温度が高い	●吸気口・吹き出し口をふさいでいるものを取り除いてください。フィルターが目詰まりしていたら、お手入れしてください。 または、直射日光や暖房から遠ざけてください。さらに、一度電源プラグを抜いて、1～2時間冷ましてから電源プラグを差し込み、再度運転してください。
運転しない 運転が止まった (運転ランプが点滅する)	●冷却器の温度が高い	●電源プラグを抜き、温度が正常になったら、電源プラグを差し込んで再度運転してください。
湿度が 下がらない	●部屋が広すぎる	●適切な広さの部屋で使用してください。
	●窓や扉、ドアの開閉が多い ●窓や扉、ドアが開いている	●窓や扉、ドアの開閉を控えてください。 ●窓や扉、ドアが開いていたら閉じてください。
	●石油ストーブなど水蒸気の出るものを使用している	●水蒸気の出る暖房器具はできるだけ控えてください。

故障かな？と思ったら つづき

運転音が大きい	●エアフィルターがつまっている	●吸気口カバー（エアフィルター）を外して、掃除機などで掃除してください。（→P11）
	●設置が悪く、がたついている	●水平で安定した場所に設置してください。
床が濡れる	●本体が傾いている	●水平で安定した場所に設置してください。
	●水タンクに水が入ったまま移動した	●移動するときは水タンクの水を捨ててください。
	●水タンク内のフロートが外れている	●フロートを正しく取り付けてください。（→P11）
	●タンクカバーが正しくはまっていない	●タンクカバーを正しく取り付けてください。（→P11）
運転中、室温が上がる	●閉め切った部屋で運転すると、放熱のため室温が上昇する	●除湿のしくみによるもので、異常ではありません。
除湿しない （送風みの運転になっている）	●自動霜取りが働いている	●室温が低くて本体内部に霜が発生すると、自動で霜取り運転します。霜取りが終了すると、通常運転に戻ります。
除湿しない、除湿量が少ない	●エアフィルターがつまっている	●吸気口カバー（エアフィルター）を外して、掃除機などで掃除してください。（→P11）
	●吸気口・吹き出し口がふさがれている	●ふさいでいるものを取り除いてください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●ご自分での分解・修理・改造はしないでください。

仕様

電源		AC 100V (50 / 60Hz共用)	
周波数		50Hz	60Hz
定格消費電力		162W	184W
定格除湿能力※1		5.5L / 日	6.5L / 日
除湿可能面積の目安※2	木造	12m ² (7畳)	13m ² (8畳)
	プレハブ	18m ² (11畳)	20m ² (12畳)
	鉄筋コンクリート	23m ² (14畳)	26m ² (16畳)
水タンク容量		約2.5Lで自動停止	
電源コード長		約1.8m	
製品寸法 (電源コード含まず)		幅319×奥行204×高さ535mm	
製品質量		9.7kg	

※1 定格除湿能力は、室温27℃、相対湿度60%を維持し続けたときの、1日(24時間)あたりの除湿量です。

※2 除湿可能面積の目安は、JEMA(日本電気工業会)規格に基づいた数値です。

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がありませんと、無料修理保証期間内でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書(裏表紙)に記載されています。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

冷媒に関するご注意



この家庭用除湿機にはCO₂(温暖化ガス)150kgに相当するフロン類(R-134a)が封入されています。地球温暖化防止のため、廃棄にあたっては冷媒フロン類の適切な処理が必要です。お住まいの地域の方法にしたがい廃棄してください。フロン類に関するお問い合わせは、アイリスコールへお願いいたします。

衣類乾燥除湿機 KIJC-H652

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間	
お客様	お名前		※販売店
	ご住所 〒		
	電話 () -		
		住所・店名	
		電話 () -	

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは
アイリスコール (通話料無料)

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは
修理専用コール (通話料無料)

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通話料無料) 0800-888-2600

Web からの問い合わせは <https://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールフォームにご記入のうえ送信してください